

参加無料
事前申込
不要

本学では、従来から社会のあり方として「高度コミュニケーション社会」という概念を提唱し、その実現に貢献する「総合コミュニケーション科学」の教育研究拠点を目指すことをビジョンとして打ち出しています。本シンポジウムでは、「総合コミュニケーション科学」が防災にどのように貢献できるのか、またこれからの日本社会のあり方と「総合コミュニケーション科学」の役割についての提言と議論を行います。

2011年10月22日(土)
13:00~17:00

開催場所：電気通信大学 B棟 202

- 13:00 開会の辞
- 13:10 招待講演
「災害時の情報通信技術の問題点と環境整備」
柴田 義孝 (岩手県立大学・教授)
- 14:00 「被災者支援の実践例
ー思いやりを行動につないだ携帯メーリングリストー」
佐々木 啓子 (電気通信大学・教授)
- 14:20 休憩 (10分)
- 14:30 基調講演
「災害時のコミュニケーションー情報の共有と災害管理ー」
古郡 廷治 (電気通信大学・名誉教授)
- 15:20 「UECソフトウェア・リポジトリと日本再生」
西野 哲朗 (電気通信大学・教授)
- 15:40 「激甚災害に備えて」
長友 貴樹 (調布市長)
- 16:10 「高度コミュニケーション社会への転換」
梶谷 誠 (電気通信大学長)
- 17:00 閉会の辞

司会：椿 美智子 (電気通信大学・准教授)

総合コミュニケーション科学からの 防災・日本再生へのアプローチ